



ジエイコー
JCHO

北海道病院 だより

No.01



「JCHO北海道病院」
平成26年4月1日(火)撮影
病院正面玄関にて

病院理念

地域の人々を中心とした質の高い医療・介護を提供し、
地域から信頼される病院になります。

基本方針

- 1.一人一人の権利を尊重し、人間愛を基調とした医療・介護を行います。
- 2.安全を第一に説明と同意に基づく医療・介護を行います。
- 3.地域との連携を推進し、求められる医療・介護を行います。
- 4.地域の健康増進をめざし、保健予防活動を推進します。
- 5.地域医療機能の推進をもって医療・医学の発展に貢献します。



院長からの挨拶

JCHO北海道病院 院長 河田 哲也

北の大地に遅い春がようやく訪れようとしています。皆様いかがお過ごしでしょうか。

新しい年度がはじまり、当院には大きな出来事がありました。病院の名前が変わりました。これまでの社会保険病院は全国社会保険協会連合会という中央の団体が経営母体でしたが、新年度から地域医療機能推進機構（JCHO：ジェイコー）という独立行政法人がそれを引き継いだのです。全国の57にも上る病院がその傘下に入り、当院もその1施設として、JCHO（ジェイコー）北海道病院となつたわけです。まだなじみのない名前にしばらくはご不便かとは存じますが、ジェイコー、ジェイコーと呼び慣れていただきますことを期待いたします。

何がかわるのでしょうか。これまで当院が行ってきた医療、介護、健診の事業内容に大きな変更はありません。これまで通りご利用いただきたいと考えます。変わることといえば、名実共に公的な施設となることでしょうか。更に、併設となっていた介護老人保健施設が病院の附属施設となり、これも名実共に一体となった運営をすることとなりました。

しかしながら、中身は今後大きく変わって行かなければならぬと考えております。これは当院だけのことではありませんが、「2025年問題」というものがあります。日本国民の4人に1人が75歳以上となる「少子超高齢化社会」の到来です。当院はこれまで行ってきた高度専門化した医療を更に効率化・高度化してまいりますが、それとともに多くの病気を抱える高齢の方々の限りある人生を満足して全うできる医療・介護の環境作りが必要とされます。これは、1施設のみでは不可能で、地域の複数の医療機関や介護施設、更には在宅治療・介護の広い連携のもとに行うべきこととなります。すでに国は病院の分業化、介護や在宅との連携などを推し進めるべく制度の変革を始めています。

そうしたなかでジェイコー北海道病院は、地域の方々との対話と相互理解の上に、地域の医療と介護の力と連携し、その力を高めて行きたいと考えています。「地域医療機能推進」という長い名前もその意味を表しています。今後も当院の運営にご意見とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

申し遅れましたが、私は新年度をもって当施設の管理を任されております。診療の専門領域は内科の腎臓病ですが、新生児からご高齢の方々まで様々な人生のシーンと関わる当院を大変魅力的な施設と考え、毎日張り切って仕事をさせていただいています。職員全員とともに、皆様のためのより良い施設とすべくがんばってまいります。



新病院になって

JCHO北海道病院
副院長 広瀬 崇興

2014年4月1日より当病院は北海道社会保険病院からJCHO(ジェイコー)北海道病院に変わりました。これは病院の運営母体が独立行政法人地域医療機能推進機構に移行したためです。これに伴い職員は一度退職し、新たに新機構に雇用されましたが、従来の公設民営から公設公営にかわったため、いわゆる「みなし公務員」になりました。この機構のもとには全国の社会保険病院の他に厚生年金病院と船員保険病院も加わり、すべてJCHO○○病院という病院名となり、全国57病院が兄弟病院となりました。そのうち道内は当院のほかに厚別のJCHO札幌北辰病院(旧札幌社会保険総合病院)とJCHO登別病院(旧登別厚生年金病院)の3病院です。またJCHOは機構の英語訳であるJapan Community Health care Organizationの略ですが「ジェイコー」と発音することになりました。

さらに当院は岸 不盡彌院長から河田 哲也院長に変わり、院内の雰囲気も少し変わりつつあります。しかし併設の介護老人保健施設も病院の付属施設となりましたので、今後とも職員一同この地域において質の高い医療と介護を提供するつもりでありますのでよろしくお願ひ致します。



副院長就任のご挨拶

JCHO北海道病院
副院長 秋山 也寸史

2014年4月1日付にて副院長を拝命しました秋山です。独立行政法人地域医療機能推進機構北海道病院としての新たなスタートの時点で重責を担うこととなり、身の引き締まる思いであります。これから学ばなければならないことが山積みですが、河田 哲也病院長のもと、広瀬 崇興副院長、古家 乾副院長とともに、地域の人々を中心とした質の高い医療・介護を提供し、地域のクリニック、病院および施設からさらに信頼され、頼りにされる病院となるよう力を尽くしたいと思います。これまで以上にお世話になると思いますが何卒宜しくお願ひ申し上げます。呼吸器センター長とも兼務しますので、困った症例等お気軽にご相談いただけましたら幸いです。



副院長就任のご挨拶

JCHO北海道病院
副院長 古家 乾

この度、運営母体と病院名変更に伴い、独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)北海道病院副院長兼消化器センター長を拝命いたしました。旧北海道社会保険病院には平成13年4月1日より勤務し、ちょうど13年間勤務したことになります。

一方、病院を取り巻く環境は、いわゆる2025年問題を想定した診療報酬の改訂など時代を背景にした対応変化が求められています。まさに医療提供体制の再構築と地域包括ケアシステムの構築を図ることです。超少子高齢化社会を見据えた意識改革が必要です。

以前の「豊平河畔だより」は36回開催された「リバーサイド消化器懇話会」の命名と同一源であることを懐かしく思い出されます。今後は副院長として地域から更に愛される病院を目指してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



統括診療部からのご挨拶

JCHO北海道病院
統括診療部長 澤田 博行

北海道社会保険病院がJCHO北海道病院に変わり、統括診療部長を拝命しました澤田です。河田新院長以下3人の副院長の下にあって診療部門全体を管理運営し、地域医療の向上に貢献していくという重大な責任を負うことになりました。地域の患者様や医療機関からこれまで以上に信頼される病院を目指し努力して参りたいと考えております。また、これまで通り周産期センター長も兼務し積極的にハイリスクの妊婦や新生児を受け入れて参ります。

今後はお気づきの点など有りましたらご遠慮なくご指摘いただければ幸いです。宜しくお願ひ申し上げます。

新任医師のご紹介

JCHO Hokkaido Hospital



心臓血管外科 小林 一哉

4月より北海道大学循環器外科から異動となりました小林です。当院は循環器センターとして地域に根ざした高度な循環器医療を提供されている病院であり、小生もその一端を担えれば幸甚です。宜しくお願ひいたします。



呼吸器内科 長井 桂

ご縁があり20年ぶりに当病院に戻ってきました。大学病院勤務が長かったので、第一線の現場で働く毎日が新鮮です。専門は希少肺疾患や慢性閉塞性肺疾患を始めとする炎症性肺疾患です。判断に困る肺病変がありましたらぜひ御相談ください。



呼吸器内科 高橋 宏典

この度、2014年4月からJCHO北海道病院呼吸器内科に所属することとなりました。専門分野はまだ決まっておりませんが、他の呼吸器内科医師指導の下、全力を尽くしていきたいと考えておりますので、何卒宜しくお願い致します。



腎臓内科 関 真秀

はじめまして、4月からこちらのJCHO北海道病院に勤務しています。出身は札幌ですが、大学は琉球大学で、卒業して7年目になります。腎臓内科として、外来、病棟、透析と頑張っていきたいと思います。



糖尿病・内分泌内科 朴澤 英寿

本年4月より糖尿病・内分泌内科へ赴任致しました朴澤英寿と申します。帯広柏葉高校、日本医科大学を経て、当院の前身である北海道社会保険病院にて初期臨床研修を修了し、この春より糖尿病や代謝・内分泌系の疾患の診療にあたります。地域医療に貢献出来るよう頑張りますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。



小児科 中久保 佐千子

はじめまして。4月からこちらの小児科へ赴任いたしました中久保佐千子と申します。昨年度まで帯広厚生病院で勤務していました。日々の札幌での生活となります。当病院の小児科医師と共に、小児、新生児の医療に力を尽くしたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。



小児科 信田 大喜子

始めまして、4月より小児科の後期研修医として入職しました信田大喜子と申します。初期研修では関わる機会の少なかった小児相手で、戸惑うことも多いかと思います。患児さんの健康と笑顔のためにがんばりますので、ご指導よろしくお願ひいたします。

新任医師のご紹介

JCHO Hokkaido Hospital



外科 片山 知也

4月より外科医として赴任しました片山知也です。専門は消化器外科ですが、乳房・甲状腺やヘルニアなども行っています。また、当院では呼吸器外科の手術も多く行われており勉強したいと思っています。ご指導の程よろしくお願いします。



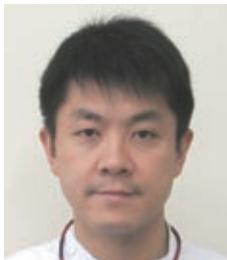
外科 岡田 尚樹

4月から外科で勤務しております岡田尚樹です。消化器外科・一般外科を担当しております。外科の一員として患者様に対しより良い医療を提供できることを目指し、努力してまいりますのでよろしくお願い致します。



外科 沢田 勧史

はじめまして、4月より外科で勤務しております沢田勧史と申します。昨年までは北海道大学病院外科で勤務していました。地域の皆さんに貢献できるよう頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いします。



泌尿器科 井上 隆太

はじめまして。4月より泌尿器科で勤務している井上と申します。3月までは、札幌医科大学の泌尿器科に勤務しておりました。前任の村中先生と同期です。泌尿器科全般を診療しておりますので、特に専門はございませんが、地域の医療に貢献できるよう頑張ってまいります。



産婦人科 頼近 奈奈

みなさん、はじめまして。頼近奈奈と申します。昨年からこの病院に在籍していたのですが、4月からは産婦人科医として勤務することになりました。この1年間はJCHO北海道病院の妊婦さんをはじめとするすべての女性に捧げる1年とします。まだまだ不慣れなところはありますが、どうぞよろしくお願いします。



耳鼻咽喉科 吉田 沙絵子

この度、耳鼻咽喉科に赴任することになりました吉田沙絵子です。出身は北広島で、大学は旭川医科大学です。大学に4年間勤務した後、以前は北見赤十字病院に勤めておりました。社会人になって初めて地元に勤めるということで、期待と共に少し緊張しております。耳鼻咽喉科はお子様からお年寄りの方まで幅広く受診される科であり、また診療範囲も広い科です。広い視野と、誠意ある診療を心がけていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



麻酔科 生水 尊之

4月より着任しました生水尊之と申します。JCHO北海道病院では主に手術室での麻酔業務を担当します。病気の治療には多少なりとも苦痛は伴うものですが、特に手術に伴う痛みを少しでも和らげるお手伝いをしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

平成25年度の地域連携相談室の実績

地域連携相談室長 本間 しのぶ

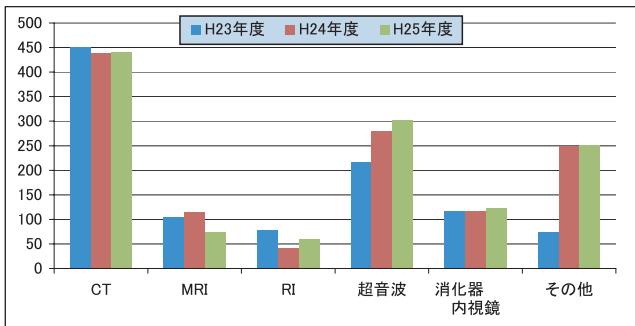
JCHO北海道病院地域連携相談室をご利用いただきありがとうございます。平成25年度の利用実績はわずかですが増加しています。

地域別の患者数は1)豊平区 2)南区 3)中央区の順に多く、札幌市の南部医療圏を網羅しています。札幌市だけでなく近隣の市町村や過疎地への医師派遣にともない倶知安町や稚内市からもご利用いただいています。

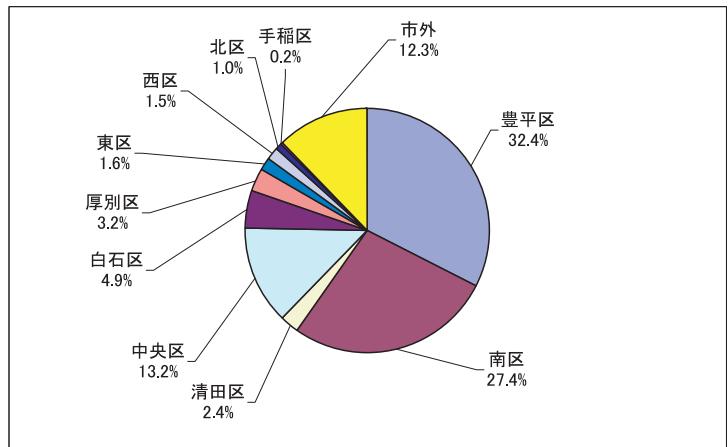
その他の検査項目が増加していますが、受診当日に採血検査等行い、待ち時間及び、後日の検査目的の再来院を減少するように取り組んだ結果です。

4月より病院の名称が変わりましたが、より患者さん・地域の医療者のみなさんの期待に応えられるよう努力してまいりますので今後ともよろしくお願ひいたします。

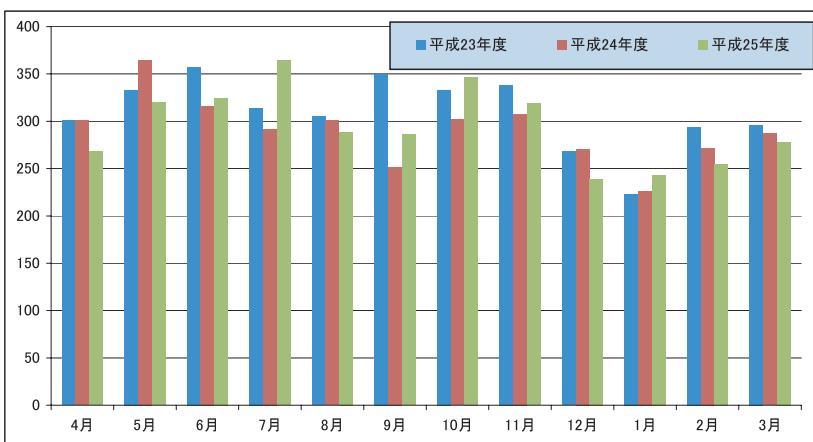
平成25年度統計資料
年度別検査項目利用状況



平成25年度統計資料
地域別医療機関患者数



平成25年度統計資料
年度別月別利用状況



患者図書室・サロンの紹介

緩和ケアチーム専従看護師 がん性疼痛看護認定看護師 兼子 美穂

JCHO北海道病院では、がん患者さん、ご家族、そして地域の皆様のニーズに応えていくため、平成26年2月に患者図書室・サロンを開設いたしました。今回は、患者図書室・サロンについてご紹介いたします。

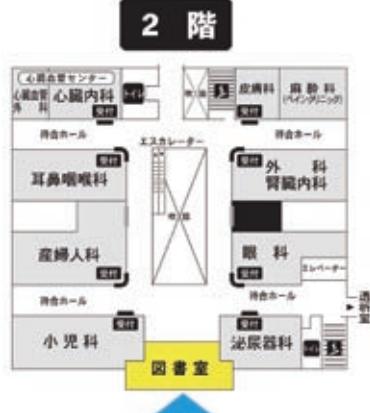
患者図書室・サロン

患者図書室・サロンは日差しが入る柔らかい雰囲気で、患者さんやご家族がリラックスして過ごせるよう配慮しております。がんに関するを中心、病気や治療などについて調べ、理解を深めていただくための図書や、さまざまなパンフレットを設置しております。相談スタッフが常駐しており、個別の症状や心配事のご相談については、担当医師・担当看護師との連携や、専門のスタッフを紹介し対応いたします。

現在、毎日患者さんにご利用いただいております。がんの診断を受けた外来患者さんが診察待ち時間に寄って調べものをされたり、入院患者さんが治療の副作用について相談に来られたりしています。これから患者さんのご意見をもとに、少しずつ蔵書も増やしていく予定です。

またこの場所は、患者さん同士の交流や情報交換、癒しの場も目的として、今後は交流会や勉強会なども随時企画・開催を考えております。開催時には、ポスター・ホームページ等でお知らせいたします。患者さん、ご家族から「情報を知りたい」「体験談を聞きたい」等のご要望やご相談がありましたら、是非お応えしていきたいと考えております。今後とも、ご協力よろしくお願ひいたします。

- 場所 外来棟 2階東側(泌尿器科・小児科横)
- 利用時間 平日 9:00~12:00(土日・祝日を除く)



図書室はこちらになります

症例検討会のお知らせ

JCHO北海道病院では、地域の先生方との研修・交流の場として症例検討を中心とした勉強会を開催しています。

豊平・清田・南区循環器懇話会

第24回

日 時:平成26年6月24日(火) 19時00分～
場 所:JCHO北海道病院 3階講堂

南部呼吸器懇話会

第37回

日 時:平成26年6月25日(水) 18時30分～
場 所:JCHO北海道病院 3階講堂

リバーサイド消化器懇話会

第37回

日 時:平成26年7月15日(火) 18時30分～
JCHO北海道病院 3階講堂

詳細は地域連携相談室まで
お問い合わせください。

研修会を実施しました

平成25年度

札幌南部呼吸器懇話会(第36回)

日 時:平成26年2月19日(水)
場 所:北海道社会保険病院 3階講堂
参加者:院外9名 院内26名

講 演:『繰り返す肺炎 過敏性肺炎の世界』
北海道社会保険病院
呼吸器センター長 秋山 也寸史 先生



平成25年度

リバーサイド消化器懇話会(第36回)

日 時:平成26年3月11日(火) 18時30分～
場 所:北海道社会保険病院 3階講堂
参加者:院外15名 院内34名

講 演:『消化器領域における陽子線治療の展望』
北海道大学大学院医学研究科
放射線医学分野教授 白土 博樹 先生



災害救急指定日

**平成26年5月4日(日)・5月22日(木)・6月3日(火)
6月14日(土)・7月1日(火)・7月20日(日)**

二次救急指定日

循環器・呼吸器系

平成26年5月27日(火)・6月9日(月)・6月22日(日)
7月5日(土)・7月15日(火)



消化器系

平成26年5月15日(木)・6月27日(金)・7月30日(水)

小児系

平成26年5月10日(土)・6月11日(水)
7月8日(火)・7月19日(土)

変更になる場合がございます。当日の新聞等で確認をお願いいたします。